

令和2年度第1回目黒区環境審議会における主な意見・要望について

意見・要望

ア 【ハクビシン・アライグマの相談・捕獲処分業務の実績について】

- ・4月7日から緊急事態宣言も発出され、様々なイベントが中止になっていることからチラシの配布が思うようにできず、新しい電話番号の周知が不足しているのではないかと懸念がある。チラシがまだまだ余っているようだったら、来年度のイベントや様々な機会を捉えて配布をし、広く周知していただきたい。
- ・映像や実物大の模型など感覚的に知ってもらう啓発が必要だと思う。
- ・データも蓄積されてきたので来年あたりから事業の更なる展開を考えたらどうだろうか。
- ・パンフレットには、よくある被害として糞害、庭木の果樹の食害等5つの例が記載されていますが、これを予防するために捕獲して殺処分までする必要があるのかどうか、よく検討していただきたい。
- ・ハクビシンとアライグマの「目撃情報」の推移も統計に加えれば、増減が分かりやすく、事業の成果を把握できると思う。

イ 【2020めぐるの環境令和2年度版環境報告書の発行について】

- ・写真・表・図が入っていて、とても見やすく良いと思う。
- ・フードドライブの常設を要望する。
- ・毎年の報告書や今後作成する計画などに、実施施策とSDGsについての関係性を明らかにしてほしいと思う。
- ・全体を見て「事業の目標」「その実施状況」「評価」で出来ていると思う。
- ・数的目標が「事業の実施回数とか参加人数」などのレベルで評価しているように思う。今後は一步踏み込んでそれが実際の環境改善にどれだけ寄与しているか（CO2削減量など）で評価できるといいと思う。事業の達成度評価はあるが、その次のステップ、「達成できていない理由などを分析して次の年度に活かして行く」部分が欲しいと思う。
- ・SDGsの浸透により地域活動や教育現場での活用が期待できる。そこで、ホームページでの活用を念頭にした編集方針を検討したらどうだろうか。たとえば概要版は、更に図表、イラスト、写真を加えて、データを主とした本編と差別化を図り、特に児童・生徒向けとするなど。

ウ 【指定喫煙所の休止状況について】

- ・子どもの受動喫煙の機会がかなり減った様に思う。しかしながら、一部の繁華街で店舗外（入口）での喫煙で、路上喫煙やポイ捨てが増えた様に思う。
- ・新型コロナウイルス感染症が収束するまで休止すべきと考える。また、近隣区が路上喫煙禁止区域にしていることで目黒区内に流入してくる喫煙者対策も必要ではないだろうか。
- ・駅周辺の屋内型指定喫煙所に、粒子除去等の設備投資を行う方が有効と考えられる。
- ・指定喫煙所の休止にともない、路上喫煙やポイ捨て、歩きたばこが増えることも懸念される。指定喫煙所周辺はもちろん、区内全域に「ポイ捨て・歩きたばこ禁止」のめぐるたばこルールがもっと知れわたるように、区民全体の常識となるような対策を。
- ・屋外での喫煙は、3密にならない為、休止する必要はない。灰皿があるから、ポイ捨てがなくなるのではないかと。また、屋外型喫煙所はコロナ感染拡大の予防にはならないと思う。
- ・目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなで作る条例はより厳しい内容に改正されるべきである。
- ・休止状態を続けてほしいと思う。最終的には、屋外喫煙所は撤去されることが望ましいと考える。また、吸い殻ポイ捨ての取り締まり、路上喫煙者への注意喚起等も、火災防止や子ども達への被害（タバコを持った手が子どもの顔に当たる等）防止等の観点から、積極的に行っていただきたい。
- ・喫煙者のマナー向上をさらに喚起するとともに区内全面喫煙禁止ぐらいの強い措置を望む。

エ 【民間の屋内型喫煙施設に係る整備費補助事業について】

- ・屋内型喫煙施設整備費補助制度の執行率をあげていく為にビラを作って個別に設置可能な所へ営業にいくしかないと思う。
- ・コンテナ型では、知人の場合を除き、複数名の同時利用は難しいと考えられる。
- ・パチンコ店ではない一般の店舗や施設への補助ができるように取組を今後も行ってほしい。
- ・補助するのは賛成だが、パチンコ屋などの屋内喫煙所は入りづらい人もいるのではないかな。屋外喫煙所もあった方が良さそう。

オ 【住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成事業の実施について】

- ・引き続き継続してほしい事業であるが、建築関連の事業所にも改めて周知をしてはいかかがか。
- ・比較的機械については苦手意識を持つ方もいて、新エネルギーの説明文を読んでもわからないから、手を出さないという方も多いのではないかな。例えば比較的導入しやすい家庭用蓄電システムを導入するといくらぐらいのコストがかかって補助がいくら、売電するとこのくらい節約できるという生活に合わせた広報を。
- ・「家庭用燃料電池システム」は、環境負荷の少ないエネルギー利用を促進する意味からも、今年度に留まらず次年度も、継続して助成事業を進める必要があると思う。
- ・導入する設備によっては別の環境問題（騒音等）を発生させることにつながりかねないという問題意識を持っている。助成対象となる設備を選定するにあたっては、そういった観点からの検討もした方がいいのではないかな。
- ・時勢に逆行することなく、件数・執行額の回復に向けた動機付施策等の実施を期待する。
- ・目黒区地球温暖化対策地域推進計画における、本事業の目標値があれば、達成率と共に資料に記載してもらいたい。未達成の場合の方策も検討し易くなると思う。

カ 【目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）の改定時期の延期について】

- ・本計画においては基本計画との整合性を図るとともに、2050年カーボンニュートラルに向けた政府の取組についても注視しながら計画策定を進めていただきたい。
- ・前回の改定からの変化としてSDGsの決定というのがあり、これについては気候変動関係でも様々な自治体の取組があることと思う。次回改定時には先進事例を参考になされるとよいと思う。
- ・温暖化対策は着実に継続的に実施していかなければならない施策のため、延期による空白ができるだけないように、また、先を見越した計画改定を期待する。

キ 【羽田空港新飛行経路の運用に係る騒音測定について】

- ・現在はコロナの影響で便数が少ないので、騒音はさほど感じていないが、今後、コロナがおさまった時には、相当大きな音に悩まされると思うので（コロナ以前の試験飛行でも相当気になった）、継続的に監視・測定して対策の申し入れ等随時行ってほしい。
- ・測定値が反射等の影響を受けない所でのものとなっているが、騒音の評価はこの方法で良いと思う。

以 上